



式典の様子



優勝旗を受け取る板谷常務

全国茶品評会産地賞受賞

Interview～上位3名に聞いた生産者の思い～

一等二席



あいとう なのき
相藤 直紀 さん(藤川区)

徹底した管理と品質の維持

毎年、一等になるという目標を持ち、品評会出品用の茶葉については、毎日のように成長具合を確認し、気象による影響などによって管理方法を変更するなど品質の維持にこだわっています。

今年は雨が多く摘み取り前の成長が例年より遅くなりました。繊細な茶葉なので、気象条件など見極めることが大変ですがお世話になっている先輩方、お茶摘みさんなど多くの方と一緒に産地賞を取ることができて嬉しく思います。

一等三席



つちや てつろう
土屋 鉄郎 さん(水川区)

お客さんに喜んでもらうために

昭和40年頃、水川農事研究会で先輩方から栽培・加工方法を教わりながら、品評会への出品を始めました。出品することで、毎年どのくらい評価されるのかを知り、次の年にどのように栽培方法を調整・変化するのかについて研究しています。

品評会で高い品質を証明することで、お客さんに喜んでもらえるお茶作りを心がけています。また、それが自分自身の弾みにもなっています。

一等六席



たんの こうし
丹野 浩之 さん(水川区)

自分にできる最善を尽くして

毎年、10キロの部で一等を目標にしています。今回の普通煎茶4キロの部の一等入賞は、私にとって思いがけないものでした。今年は天候に恵まれ茶葉の育成もよく、高品質なものに仕上がりました。収穫も鮮度に気を配り、短時間でいじ最善を尽くしました。

シルバー人材センターとお手伝いしていただいた方々のご協力があり、一等への入賞と、産地賞に貢献できたことをとても嬉しく思います。

3年ぶりの受賞！努力が実を結び！

普通煎茶4キロの部で産地賞を受賞した川根本町。10月28日(土)に福岡県八女市で開催された「第77回全国お茶まつり福岡大会」において、園田靖邦町長に賞状が、大井川農協の板谷隆輝常務に優勝旗が授与されました。川根本町の産地賞受賞は、3年ぶり通算16回目の受賞となりました。日本一の茶産地であることを確認したものと、高品質な川根茶の名声を全国へ示すことができました。入賞結果は次の通りです。

普通煎茶4キロの部

- 一等二席 相藤農園 相藤直紀(藤川区)
- 一等三席 つちや農園 土屋鉄郎(水川区)
- 一等六席 丹野園 丹野浩之(水川区)
- 二等 相藤園 相藤令治(藤川区)
- 普通煎茶10キロの部
- 二等 丹野園 丹野浩之
- 三等 かわね山処苑 小平史郎(久野脇区)
- 三等 川根たつちゃん農園 橋本立生(田代区)